

あそびまつりだより NO.10

2018.10.10

頌栄幼稚園

年中組 リボンあそび



はじめてのリボンあそび
男の子も女の子も思い思いに表現し
楽しんでいました。



「ぐるんぐるん♪」



「へびだよ～」

最後はお片付け。まくのは大変！
けれど優しくくるくると頑張っ
ています。お友達と手伝いあいつ
こもしていましたよ！



頌栄幼稚園一年目の私の目からみた驚きや
感動をお知らせします！（朝のチャレンジより）



跳び箱前、
自然と揃う草履や上靴！！



竹馬のスタートは色々な場所から始ま
ります。竹馬といえば、朝礼台のような
台や地面から乗るイメージがあったの
で、鉄棒やウンテイを使っている時は
「なるほど。そういう使い方もあるの
か！」と驚きました。

ウンテイのあいだに竹馬を引っかけて、
身体を引き寄せて乗っています。高い竹
馬ほどグッと力がいらしますが、年長組は
軽々と乗っているようにみえます。

広い園庭には色々なあそびが繰り広げられていますが、あそびを区切る線や柵はありません。竹馬や一輪車や跳び箱と広いスペースが行き交っている中、はじめは「ぶつからないか大丈夫かな？」と、ヒヤヒヤしていた私でした。しかし子どもたちはそれぞれのあそびを上手に避けつつ、楽しく遊んでいます。例えば跳び箱の前、勢いよく助走をつける年長組のBくん。するとその前に年少組が大玉ころがしで横断！Bくんは慌てて止まって横切るのを待ち、誰もいなくなったことを確認してまた跳び箱へ走り出しました。当たり前のことのように思えて、実はこんな場面があちこちにあっのびのび広場は成り立っているのだと感じます。一学期からの積み重ねも勿論ですが、もっとたどれば、きっと子どもたちの中に宿る頌栄のあそびの伝統なのかと考えました。おもいやりのこころも受け継がれてきて、“あそび”とは運動能力だけではないのだと、学ばされます。

身体を動かす機会が多くなり、すこしの怪我なら大丈夫！喧嘩や失敗も経験！けれど、本当に危険な時や、大きな怪我につながることは、その場で何をどうしたらよいかを話あうようにしています。あそびまつり本番まで二週間をきりました。まだまだどうなるのか、楽しみです。